

平成9年度総会御案内

日時 6月21日(土) 午後3時 場所 母校 本庄高校視聴覚教室
 御招待予定恩師 久保田正義先生
 内容 (1) 午後3時 通常総会 (3) 午後5時 懇親会(会費3,000円)
 (2) 午後4時 記念音楽会 ① 場所 埼玉グランドホテル本庄(本庄駅南口)
 演奏 本高吹奏楽団 ② 交通 母校よりの送迎バスの用意あり
 指揮 中島 豊

柏陵

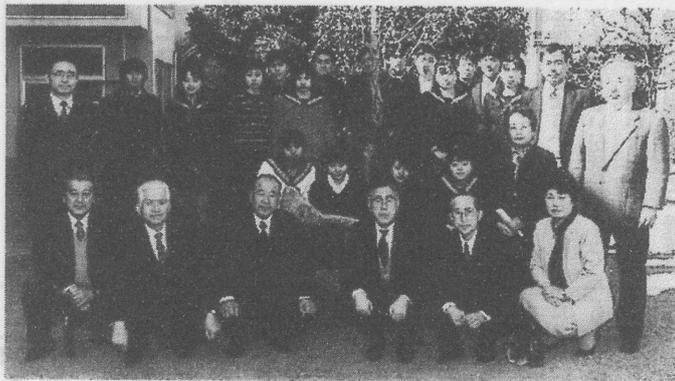
節目の年に思う

同窓会長 戸谷全克 (高一回卒)



母校の木々の緑も一段と深みを増して参りました。會員の皆様にはご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。前号にてお知らせ致しましたように、母校は大正十一年

発行 県立本庄高校同窓会
 会長 戸谷全克
 事務所 本庄市中央1-7-21
 戸谷八内
 ☎0495(22)2008



祝・創立七十五周年植樹記念
 埼玉県立本庄高等学校同窓会 平成九年三月十日



協力者
 掛川 繁(高2) 植樹
 岩本英人(中20) 揮毫
 星野栄一(高8) 石碑

(一九二二)四月八日開校以来、今年で七十五周年を迎えました。振り返ってみますと、関東大震災、大恐慌、戦争、敗戦、戦後インフレ等時代の移り変わりは激しく、学校もその時代の影響を受け軍事教練、勤労動員、疎開生徒の受入れ等の対応を余儀無くされて参りました。特に戦後の六三三制の実施に伴う学制改革で、昭和二十三年(一九四八)四月一日より新制高等学校として発足し、同年九月一日には定時制課程を併置、更に昭和二十五年(一九五〇)七月一日よりは本庄女子高等学校を統合して現在の態様になったのであります。この新体制も既に五十年になろうとしております。その間、学校を取り囲む教育環境も激変致しま

した。かつては児玉郡市はもとより深谷、秩父、伊勢崎等近隣各地には県立中学校がなかった関係で、学校側からみれば正に買い手市場であったわけでありましたが、現在は多くの競合校が出来、その上中・小学生の総数が減少に転じてしまったのであります。この厳しい現実には直前校長・教頭は学校改革を合い言葉に全力で取り組んで下さいました。本年度新たにご赴任なされた郷原校長・芹川教頭もやる気一杯と拝察致しました。私達もこの節目の年をとらえ、母校の一層の充実発展に寄与したいと考えております。會員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本部・支部役員

会長	戸谷 全克	高1	顧問(校長)郷原 康一
副会長	立川 大作	中9	宮本町 卜部 義典 高1
副会長	高木 敏子	女8	泉 町 竹並栄一郎併中2
副会長	清水 實	中19	上 町 境野 登 高2
副会長	吉田 建治	高2	照若町 飯野 利衛 中19
副会長	塚越 寿衛	高2	仲 町 中田 脩一 中19
副会長	竹並栄一郎 併中2		七軒町 町田 一徳 高5
副会長	小林 晶	高12	本 町 矢代 和正 高6
副会長(教頭)	芹川 真澄		台 町 松本 敬一 一定1
副会長(教頭)	斐塚 光臣		南本町 村田敬次郎 中22
会計	内野ヨシエ	女16	末広町 野枝 直治 高5
会計	清水 正一	高6	諏訪町 井上 昌幸 中22
監事	江原 清吉	高4	朝日町 内藤 明 高3
監事	竹内恵美子	高6	藤 田 荻野 清 中8
顧問	岡 祐孝	中9	仁 手 福島 好正 高3
			旭 龜田 本二 高4
			北 泉 門倉 義久 中11
			今 井 岡岸鶴五郎 中10
			児 玉 吉田 建治 高2
			美 里 春山 一三 高3
			神 川 金井 久直 中22
			神 泉 新井 從信 中15
			上里神保原 森村 信行 高14
			上里賀美 小野 英彦 高14
			上里七本木 斎藤 勝次 高14
			上里長幡 小柳 喜政 高10
			岡 部 茂木 肇 中14
			寄 居 松本 恭一 高2
			深 谷 清水 實 中19
			熊 谷 西村 茂雄 中17
			県庁東南 中居 武夫 高5
			伊勢崎 吉澤 唯志 高11
			新 町 高嶋 重皓 高6
			東 京 富田 三郎 中4
			本庄市役所 小林 晶 高12
			エーザイ 北川 茂 高11
			沖電気 村岡 徳英 高15
			児玉郡市教職員 福島 巖高8

柏陵消息

新しい世紀への教育を求めて

新学校長 郷原康一



ある晴れた日に、七十有餘年の輝かしい伝統に彩られた本庄高校に赴任して参りました。身の引き締まる思いです。

今教育界は、目まぐるしい変化の中で、二十一世紀という新しい世紀にふさわしい教育を目指して、大きく動き始めています。しかも人々の価値観は多様化し、ものの本質の見えにくい時代にもなっております。そういう中において、「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」を大切にしたい。そういう教育が求められております。

私達は、自由と規律、意志と活力、この恵まれた教育環境の本庄高校で、生徒達がますます勉学に励み、体力・気力を養い、理想を高く掲げ、明るく、たくましい高校生活を送れるよう、七十五年というすばらしい伝統を踏まえて、創造性と豊かな心をはぐくむ教育の実現に向けて、最善の努力を払いたい、そのことを通して、社会に大きく貢献する人づくりに学校をあげて取り組みたいと考えております。

そのことが、生徒達が限りない天空のかなたへ、自らの目標実現に向けて飛翔するものであると信じているからであります。

本校同窓会員の数は、すでに二万名を超え、各方面で活躍しております。これはひとえに、同窓生の皆様方のためまざるご精進の賜物であります。皆様の、母校の発展へのご支援をお願いいたしますと共に、皆様のさらなる活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

新入会員 入会式

平成九年三月十日・十一日の新入会員入会式には校長先生始め学校関係者ご臨席のもと、会長以下本部役員が出席した。その折りの新入会員代表の謝辞を紹介する。

卒業生代表

関口真市(全)

今、委嘱状をいただき、誇りに思うと共に、責任感をずっしりと感じています。私たちは、人生の節目を迎え、もう一歩社会へと前進していく訳ですが、自分の信念だけはしっかり持って道を築き上げていきたいと思っております。

これからは、本庄高校が私たちの母校となることを大変誇りに思います。しかし、思うことは誰でもできることです。本庄高校にとって、また何よりも自分にとって、大切なものは、日々努力することです。そして、自分自身に磨きをかけ、自己満足の「誇り」から、誰からも認められる「誇り」に成長させることに意義があるのです。

努力なしでは、良い人間は生まれません。しかし、本当に夢を持っている人、追いかけている人ほど、「努力」という小さな部品を必死で組み立てているのです。その必死

さは、自分の生きがいであり、楽しみとなるのです。そのように、いつでも一生懸命な人でいられるよう、「今」という一瞬一瞬を見つめ、考えていきます。

卒業生代表

鎌田 雄(定)

ただ今は、貴重な記念品を頂きました。ありがとうございます。

私達十九名は、本日本庄高等学校を卒業し、これからは、榮譽ある本庄高等学校同窓会の一員として、諸先輩皆様の仲間入りをさせて頂くことになりました。

今後ともよろしくご指導下さいませよう。お願い致します。お礼のことばと致します。



本会の顧問をなされておられた坂本博前校長には永年に亘る県教育界への貢献を高く評価され、去る三月「教育功労賞」を受賞されました。

「訃報」 富沢 温先生

先生には昭和二十一年八月より昭和五十五年三月まで、英語教師並びに教頭としてご指導を戴きましたが、去る一月六日ご逝去なされました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成9年3月卒業 同窓会幹事 一覧(全・定)

○は学年幹事

- 1 清水 歩(神川町)
2 関口 真市(深谷市)
3 織茂 弘充(本庄市)
4 高橋 淳(深谷市)
5 石井 竜児(本庄市)
6 酒井 裕之(児玉町)
7 波田野和生(深谷市)
8 植竹 章男(本庄市)
9 関根 芳信(上里町)
定 鎌田 雄(本庄市)
加藤ゆかり(本庄市)

平成9年度 当初人事異動 (敬称略)

- 【退職】 校長 坂本 博(全日制)
教諭 小林敏男(全日制)
教諭 江原節子(全日制)
【転出】(全日制) 教頭 萩原洋造 常盤女高
教諭 大谷芳滋 熊谷農高
教諭 石坂晃一 児玉高
実助 新井弥生 臨探
主任 高橋英子 児玉高
主事 大澤 康 川口工高
非講師 小柳法子 児玉高
【転入】(全日制) 非講師 小柳法子 児玉高
校長 郷原康一 南教育センター
教頭 芹川真澄 教育改革室
教諭 目黒晴美 本庄北高
教諭 林 一 寄居高
教諭 茂木公雄 寄居高
教諭 永井隆夫 浦和高(定)
主任 金子みつ江 深谷商高
【臨探】(全日制) 教諭 松岡由美子 児玉
実助 渡邊久枝 玉川工高
主事 小暮夏代 上尾高
【更新】 非講師 小林由里子(全日制)
兼教諭 中山幸男(定時制)
【新採用】 非講師 小宮山綾子(全日制)
【再採用】(定時制) 非講師 大場 啓子(定時制)

図書寄贈

著者 関口美沙恵(高十四)
長編推理小説「悪業の筐」

1997年春の大学合格状況

Table with 2 columns: 国公立大学 (National/Imperial University) and 人数(現役) (Number of current students). Lists 10 universities and their counts.

Table with 2 columns: 私立大学 (Private University) and 人数(現役) (Number of current students). Lists 10 universities and their counts.

Table with 2 columns: 私立大学 (Private University) and 人数(現役) (Number of current students). Lists 40 universities and their counts.

Table with 2 columns: 私立大学 (Private University) and 人数(現役) (Number of current students). Lists 40 universities and their counts.



今春の進路状況

進路指導部 銭谷郁子

求職者にとっては、まだまだ冬の時代。地元の仕事は特に難関で、最終的に就職浪人が三人でました。公務員全滅という高校も多いなか、本高は複数合格を果せました。「適性」検査が難物。今春は新教育課程入試初年度。センター試験では、旧課程より学年で四十名減ですが、大学・短大とも、合格数

実数は例年並の比率。短大の最難関校、青山学院や学習院短に合格したうち、二名は併願の大学に入学、というのも、女子の進路特徴の一環です。大学・短大の現役合格率は四十%強ですが、女子の多い学年なのに、大学の比重が高まったこと、実力突破志向が強く、推薦、特に指定校の比重低下などの特色があります。浪人は受験校を絞った形跡があり、数は減ったものの、難関校で健闘を見せました。看護・医療系の進路実現の多いのが専門学校組の特色。

過去5年間の確定進路推移

()は現役

Table showing the trend of confirmed career paths from 1993 to 1997. Columns include year and categories like 国公立4年制大学, 私立4年制大, 短期大学, 専修・専門学校, 公務員・就職.

「埼玉県立本庄中学校校歌」と

「塙保己一」

去る四月桐生在住の石田義信氏(中十四)より書簡を戴きました。古書類の叢書「群書類従」(六六六十八冊)を刊行した江戸時代の盲目の国学者、塙保己一(一七四六一一八二二)を顕彰する(社)温故学会の定期刊行物である「温故叢誌」五十一号(保己一生誕二十五周年記念号・今秋十一月五日発行)に「埼玉県立本庄中学校校歌の歌詞が保己一欽仰への立派な歌詞であり、若き全生徒は高らかに愛唱し、母校の名誉と伝統に精進勉学した」と全国で紹介される予定だそうです。因みに「校歌」については六十周年記念誌二二四頁に作詞者の田口正義先生が「心の眼朽ちせぬ光」と云う歌詞は「児玉郡保木野村出身なる盲俳人塙保己一人の偉業は今更喋々するを要しない。その慧敏なる心眼、不朽の事業、何時までも吾等の欽仰措かざる所である」との畏敬の念で作ったものであると書いております。

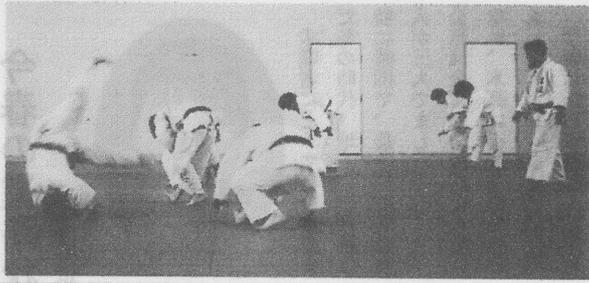
「創立六十周年記念誌」は僅少ですが在庫があります。ご購入希望の会員は母校春山直先生にお申し込み下さい。記念誌代二、〇〇〇円

母 校 近 況

柔 道 部

「やってやろう」という気持ちで、ただ我武者羅に過ごしてきた三年間が終わり、昨年は団体戦で県ベスト16、あと一歩で関東大会、個人戦でも県北大優勝、そして国体候補選手に選ばれるなど、少しずつではあるが、結果が残せるようになってきた。

しかし、本当の、本物の強さを身につけた生徒・選手の手育成となると疑問が残る。今後、より高いレベルへ導いていくために必要なものは何であるか考えさせられる。



まず、自分たちで自分の目標を見据え、自分たちで判断し、今、何をやらなければいけないのかを常に考えて行動していくことが大切であろう。また、柔道部員であるという自覚、あたりまえのことをあたりまえにやる、とにかく全力でやってみようという気構えが求められると思う。「これだけのことをやった」という自信の中に「柔道」というものしか見つからないのでは、これ以上、前進することはできないような気がする。

本高の生徒の能力は、まだまだこんなものではない。私も生徒も、もっともっとやれる。やってやる。

(文責 森 康洋)

女 子 バレー部

本庄高校に転勤して五年目を迎え、女子バレー部の監督もようやく板についてきたように思います。素人監督が、それでも情熱を持って部活指導に当たってこれたのは、一生懸命バレーに打ち込む生徒たちに恵まれたためであり、活動を支えて下さる父母の方々、OGのみなさんのお蔭といつも感謝しております。

昨年の六月のインターハイ予選で、運動部の監督になって十四年目で初めて県大会に出場でき、また、八月の新チームで臨んだ夏季大会では、県北地区三位と、これも初めて賞状を手に入れることができました。



これからの女子バレー部の活躍に期待して下さいます。
(文責 監督 小渊孝二)

図 書 部

ここ二年間、万葉集を遊びながら楽しむということになり、万葉集を歌ったり、視聴覚教材や書物を読んだり、時には万葉歌碑めぐりや拓本とり、万葉集を楽しんでいる人々にインタビュをし、万葉の世界・万葉人の心に触れてきました。

文化祭では、万葉集が単なる日本最古の歌集ではなく、現代でも幅広く親しまれ、楽しまれ、活用されている若々しい歌集であることとを多くの人々に知っていただきたいと思い、

- (一) 専門の学者ではなく全くの素人で、万葉集を独自の方々に楽しみ、活用している「現代万葉集」
- (二) 「万葉まつり」など地域おこしに活用している市町村
- (三) 歴史的環境として、万葉故地を開発の嵐から守ろうと頑張っている人々を中心に展示発表してきました。

今年もヤジウマ精神を発揮

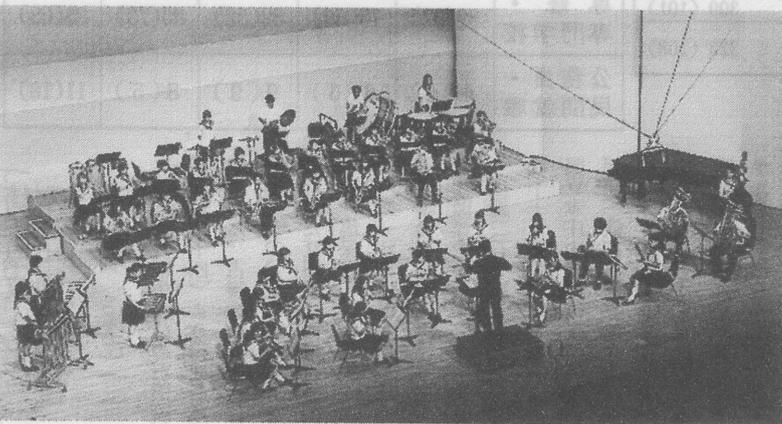
吹 奏 楽 部

本庄高校の朝は、ブラバンの音で始まる。定時制との絡みで放課後の練習時間を十分に取れないため、その不足をカバーしようと、生徒達は早朝から音楽室に集い、練習が始まる。

恒例の定期演奏会も今年で三十八回を数え、親子で出演した例も始め、県下有数の歴史を誇るバンドに成長した。

また、毎年夏に開かれる吹奏楽コンクールでは、B部門(中編成)で、地区大会三年連続金賞を得て県大会に出場を果たし、九五年には、最優秀賞を獲得し、県代表として、

部創立以来初めて、西関東大会に出場する栄誉にも輝いた。昨年は、全



国でも最もハイレベルとされるA部門(大編成)に、楽器不足に悩まされながらも挑戦し、地区大会で銀賞を得たが、僅差で県大会出場を逃した。その悔しさをバネに、今年こそ県大会のステージを目指して、また早朝から、練習が始まっている。

同窓会員の皆様も、是非一度、演奏会に足をお運びいただければ幸いです。そこは、青春を音にかけた若者達の熱い想いで満たされているはずだから。

(文責 中島豊)

<p>※毎月定例役員会の開催</p> <p>3月(1)新会員入会式開催 (2)新幹事委嘱式開催 (3)母校卒業式へ出席</p>	<p>10年1月 育英資金支給及び 母校助成金の贈呈</p> <p>2月 支部長会議及び新 年会の開催</p> <p>3月(1)新会員入会式開催 (2)新幹事委嘱式開催 (3)母校卒業式へ出席</p>	<p>8年4月 母校入学式に出席</p> <p>5月(1)会計監査 (2)会員名簿発行 (3)会報23号発行</p> <p>6月 通常総会開催</p> <p>7月 野球部応援</p> <p>11月(1)中高連絡会開催 (2)記念講演会開催</p> <p>9年1月 記念会報24号全 員へ配布</p> <p>2月 支部長会議・新年 会開催</p> <p>3月(1)母校助成金・生徒 育英金を贈呈 (2)記念植樹を行う (3)新会員入会式開催 (4)新幹事の委嘱 (5)母校卒業式に出席</p>	<p>※毎月定例役員会開催</p> <p>▼平成9年度事業計画案</p> <p>9年4月 母校入学式に出席</p> <p>5月(1)会計監査 (2)会報25号発行</p>
---	--	---	---

平成8年収支決算及び、平成9年収支予算案

財産目録(案)

自平成8年4月1日
至平成9年3月31日

自平成9年4月1日
至平成10年3月31日

平成9年3月31日

(単位 円)

収入の部		(単位 円)	
科目	平成8年決算	備考	平成9年予算案
入会金	864,000	全日制409名、定時制23名	794,000
終身会費	4,070,000	本年度納入者423名。但し、過去の二重 納入者16名分を一括振替処理する	500,000
年会費	203,000	納入者203名	100,000
寄付金	170,000	14万円は終身会費よりの振替。 P 6参照	10,000
雑収入	313,337	定額貯金利息186,000円。 その他名簿代、祝金等	100,000
臨時収入	1,478,140	会員名簿関連精算金	0
前年度繰越金	5,016,389		6,747,708
合計	12,114,866		8,251,708

科目	金額
定期預金	10,958,657
定額貯金	5,020,000
定額貯金	3,840,000
定額貯金	1,000,000
普通預金(あさひ銀行)	978,686
普通預金(さくら銀行)	93,044
当座預金	25,962
現金	1,958
郵便局振替口座	808,058
合計	22,726,365

(注1) *の合計が繰越金で、計6,747,708円になる。
(注2) 平成9年3月31日現在、終身会費納入者数
3,837名。従って、約15年間で1,560万円ほど
終身会費基金が目減りしていることになる。

支出の部		(単位 円)	
科目	平成8年決算	備考	平成9年予算案
総会費	177,642	総会、音楽会、恩師を囲む懇親会補助	350,000
組織編成費	1,344,323	会報23号制作費 323,270円 会報24号制作費 830,145円 支部長会・新年会補助費 152,808円 新幹事委嘱関連費 38,100円	1,200,000
記念品費	262,080	卒業記念用認印416本@630	258,050
母校助成金	50,000	進路指導2万円、図書補助2万円、新聞 部補助1万円	50,000
会議費	31,300	本部役員会費	50,000
通信費	1,810,865	会報23号郵便料 592,195円 会報24号郵便料 1,068,490円 支部長会、新年会等葉書代 107,800円 終身会費振込手数料 37,490円 その他送料 4,890円	2,500,000
交際費	137,141	野球部補助 51,000円 講演会補助 67,141円 柏樹祭祝金等 19,000円	150,000
中高連絡会費	116,122	母校と近隣中学との意見交換会	200,000
事務雑費	1,153,503	封入経費23号 282,688円 " 24号 863,543円 宛名ラベル6,448円 残高証明824円 在校生1名へ支給	1,000,000
育英資金支給	50,000		50,000
80周年記念 事業費	0		1,000,000
予備費	234,182	創立75周年記念植樹関連費用	1,443,658
合計	5,367,158		8,251,708

依って次期繰越金は収入合計12,114,866円-5,367,158円=6,747,708円である。

左記並びに上記の諸表を見、将来に
備え平成9年度通常総会にてご審議
願う予定の議案について
会長 戸谷全克

紙面の関係で要点のみ列举致します。詳しくは
総会で説明しますので是非ご出席下さい。

- (1) 会費改定の件
- ①会費変更事由 (a)経費の増加
(b)低金利時代の到来
 - ②会費変更の時期 (a)周知期間の必要
(b)実施時期の選定
 - ③具体案例
(a)年会費 現行1,000円を平成11年より
2,000円とする案。
(b)終身会費 現行10,000円を21世紀より
15,000円とする案。
- (2)維持会費新設の件
- ①新設事由
本来終身会費は基金とし、会運営費はそ
の利息のみとすべきである。しかし現在の
低金利ではそれは望むべくもない。そこで
円滑な会運営の為、新設を考える。
 - ②金額 3万~5万円程度を考え、分
割納付も可とする案。
 - ③実施予定時期 80周年以後

終身納入者芳名 (卒年別)

H8.4.1~H9.3.31

但し※のついた方は前号にも記載されています。全員では四二二名。

- 【中1】内野久世 倉林儀市郎
【中7】田端弥太郎
【中12】東村金之助
【中14】荒木篤二
【中15】五十嵐晋吾 金井尚文
【中16】馬場昌 茂木英二
【中17】小林芳人 並木鏡治
【中17】大久保正雄 笠原光寿
清水俊夫 田島博哉 田村庄次
【中18】清水守雄 金嶺和夫
飯島祐輔 鈴木博
【中19】飯島祐輔 鈴木博
※関口正巳 田島武
富丘泰壽
【中20】板垣元廣 太田昭一
川野昭平 坂野治男
長谷川精一 早野克雄
【中22】伊平保夫 牛久保量平
戸塚頼二 富田博久
春山一郎 高橋恒充
【中23】岩田修一 高橋恒充
高橋安治
【中24】関雄輔
【中24】阿佐美 均 多田達郎
松本甫 山口喬
【併2】横川純男
【実1】入ッマ
【女3】水野シゲ
【女5】杉原和子
【女7】原田ひで子
【女8】海老原美登子 柿沼知江
大野貞子 神岡初恵
【女10】鈴木ススム
【女11】平野美津江 持田文子
田山芳子
【女13】若山富士子
【女14】堀込明子 谷室ワヂ子
【女15】森本みさを 小暮行子
時田文代
【女16】勝又照子 石上ちよ
河田ゆき子 近藤富美子
並木栄子
【女17】根岸和 高橋静江
田中節子 米山はな子
【女18】長田恒子 早野和子
【女19】雨宮光江 久保田保子
【女20】笠原利江 根岸光子
齊藤恵美子
【女21】大滝邦子 田島ハル江
【女22】富田トシ子 日向玲子
柿沢寿々枝

- 【高11】織茂兼嗣 児島永一
小林巻嗣 根岸美代子
【高10】内田富子 金井達朗
中村和江 木村滋
吉住幸子 齊藤信義
桜井弘子 増野雄一郎
渡辺綾子
【高9】竹本郁子 大塚 忠
連沼カズ子 村木マツ子
高橋章夫 戸塚孝英
須藤多美夫 町田良子
山口益男
【高8】高柳ミツ子 高橋敏子
萩原キミ子 齊藤英代
庄田義子 萩原芳雄
鎌田みや 榑木才子
松本悦子
【高7】飯塚 功 五十嵐祥江
島方千鶴 古家智恵子
小平 潤 根岸常久
町田 修 森本澄子
宮澤久子 栗原 猛
高柳ミツ子 高橋敏子
萩原キミ子 齊藤英代
萩原キミ子 齊藤英代
鎌田みや 榑木才子
松本悦子
【高6】相川直之 飯島政行
福田力 石田芳子
篠口ツネ子 岡田喜久夫
竹田初枝 石崎節子
高橋純雄 橋本俊正
早野信也 福田ハツ子
藤家嘉久 土屋知子
茂木伊勢子 三谷喜久江
丸岡三記子 横田章司
小林政子
【高5】岡本光三 金谷晃一
清水信男 高橋晋史
高藤吉雄 富田真稚子
春山福一郎
【高4】井上唯雄 茂木美代子
柳橋スマ 上原とし子
森田峰子 島村道子
【高3】内山トキ子 中澤豊子
金井三男 木村初太郎
栗田 實 鈴木一郎
高柳佳司 武井直介
谷 隆元 荒岡節子
茂木 満 茂木秀雄
矢崎昌吉
【高2】猪岡忠良 富田 亨
野村宏 原 英一
【女高1】高山知子 中澤豊子
内山トキ子
金井三男 木村初太郎
栗田 實 鈴木一郎
高柳佳司 武井直介
谷 隆元 荒岡節子
茂木 満 茂木秀雄
矢崎昌吉

- 【高12】山本茂生 境野五百子
長 美智子 若林宏子
中島宗治 吉野勝治
赤沼輝生 池田芳子
南根玲子 持田康照
南條清子 増野好子
天野 明 尾崎節子
中村幸子 田中知行
中村定弘
【高14】矢口晴美 中野明輝
宮崎祥子 堀込正義
湯本春美
【高15】大橋義彦 川上泰紀
※田嶋哲夫
※田嶋哲夫
【高16】黒沢陽代 加相和子
山下美津枝
【高17】新井克芳 卜部好之
木暮庄三郎 沢口春枝
清水邦夫 森 節子
西尾哲子
【高18】飯塚哲郎 飯野 繁
岩崎正和 岩田富夫
萩野 栄 青木照子
和野ト子 ※正田和一
高橋よね子 山内 清
※田嶋陽子 四方田敏夫
※斎藤すみ子 鈴木洋子
田口幹雄 金井節子
宮坂秀実 酒井幸江
【高19】田中庸子 ※石川義明
※今井善博 大野賢一
※中村静江 ※金井春夫
※河田信行 藤家久代
柳沢なみ子 根岸精一
千田千加子 篠原久子
森戸伸行 山崎礼一
田中美幸 中澤恵美代
小島和昭 斎藤貞明
※坂井治男 柴崎信一
※谷秀樹 ※林 八子
※保泉 豊 黒田恵子
※吉田八重子 新井偉道
※岡本和信 神田栄一
※倉林周治 小泉律子
清水理 山本和子
清水 明 山本和子
須永辰巳 ※堀口あさみ
※松崎良子 ※向井邦夫
※和 和 横田桂子
※吉田 明
【高20】田中幸幸 中澤恵美代
小島和昭 斎藤貞明
※坂井治男 柴崎信一
※谷秀樹 ※林 八子
※保泉 豊 黒田恵子
※吉田八重子 新井偉道
※岡本和信 神田栄一
※倉林周治 小泉律子
清水理 山本和子
清水 明 山本和子
須永辰巳 堀口あさみ
松崎良子 向井邦夫
和 和 横田桂子
吉田 明
【高21】田中庸子 石川義明
今井善博 大野賢一
中村静江 金井春夫
河田信行 藤家久代
柳沢なみ子 根岸精一
千田千加子 篠原久子
森戸伸行 山崎礼一
田中美幸 中澤恵美代
小島和昭 斎藤貞明
坂井治男 柴崎信一
谷秀樹 林 八子
保泉 豊 黒田恵子
吉田八重子 新井偉道
岡本和信 神田栄一
倉林周治 小泉律子
清水理 山本和子
清水 明 山本和子
須永辰巳 堀口あさみ
松崎良子 向井邦夫
和 和 横田桂子
吉田 明

- 【高22】田中美幸 中澤恵美代
小島和昭 斎藤貞明
坂井治男 柴崎信一
谷秀樹 林 八子
保泉 豊 黒田恵子
吉田八重子 新井偉道
岡本和信 神田栄一
倉林周治 小泉律子
清水理 山本和子
清水 明 山本和子
須永辰巳 堀口あさみ
松崎良子 向井邦夫
和 和 横田桂子
吉田 明
【高23】吉田八重子 新井偉道
※岡本和信 神田栄一
※倉林周治 小泉律子
清水理 山本和子
清水 明 山本和子
須永辰巳 堀口あさみ
松崎良子 向井邦夫
和 和 横田桂子
吉田 明
【高24】柳瀬宮子 井上和久
※生本久子 荻野雪光
※奥山和枝
※丸山トキ
※阿部道子 鈴木良二
高柳 昇
高木 昇
佐々木静枝 井上裕子
【高25】高柳 昇
高木 昇
佐々木静枝 井上裕子
【高26】佐々木静枝 井上裕子

- 【高27】赤坂俊幸 大船義郎
※増岡正人 境野英子
田中友子 荻坂本 等
千代田叔彦 原 浩
※堀口哲男 向井勝彦
※藤原桂子 ※柳瀬桂一
新井安房
【高28】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高29】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高30】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高31】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高32】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高33】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高34】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高35】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高36】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高37】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高38】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高39】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高40】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高41】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高42】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高43】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高44】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高45】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高46】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高47】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男
【高48】飯野久久 飯野真理子
※小賀野実 清水隆士
※樋口孝昭 福留 穰
吉沢文男

平成八年度 寄付者一覧

- 【中4】鈴木二郎 野口 武
【中7】高橋美典
【中9】吉岡樹作
【中17】内田秀男
【女5】内野シヤウ
【女12】吉羽美登里
【女19】河西和子 富丘千鶴子
【女20】原田秀子
【高5】原田秀子
【高12】金子康江
【高19】飯塚哲郎
【高22】小林正嗣
【高31】小林美恵子
【高33】増田勇司
【高35】神長金義
【協力誠に 有難うございました。
H8.4.1~H9.3.31
但し※の方は9年度納入者
【高47】飯田純也 新井清美 安斎裕也
飯田 豊 石井辰哉 泉澤美樹
磯 剛元 市川博教 井上美有紀
岩崎広志 大谷知子 大和田理香
岡田 悟 荻野雅之 萩山高広
小澤正博 梶野恵子 金井知美
金井洋之 鎌塚芳江 川浦信一
川田巳代 神田達也 木下千絵美
木村 伸 木村智司 金城 司
久保田梨恵 栗田明洋 小暮和也
斎藤 陽 斎藤泰代 榑原寛子
桜井まきみ 桜沢文孝 佐藤恒之
芝田香織 清水あけみ 諏訪高弘
高桑礼子 高田美佳 高田理恵